

アルファロメオ 0156

アルファ 156(932)用取説

装着前に必ずお読み下さい。

- ・本製品はスポーツタイプのステアリングに交換するためのアダプターです。それ以外の用途に使用しないで下さい。
- ・本製品はMOMO社製ステアリングホイールまたはナルディ社製ステアリングホイールの取り付けに対応しておりますが、それ以外のメーカーでも取り付け部の形状が同じであれば取り付けできる場合があります。詳しくは装着するステアリングメーカーにご確認ください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店に作業をご依頼ください。
- ・作業時は保護メガネ、グローブ等の安全具を身に着け、怪我に充分注意し作業を行ってください。
- ・事故等、強い衝撃時に本製品により運転者に損傷を及ぼす危険があります。充分ご注意ください。
- ・誤った取り付けや取り扱いによる車両等の破損、又は事故等を起こされた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・純正ステアリングの取り外しは本取説には記載しておりません。自動車メーカーの整備解説に基づいて行ってください。
- ・作業は車両を平坦な場所に置き、ステアリングを直進状態にして、必ずバッテリー端子を外して 10 分以上経過してから作業を始めてください。
- ・バッテリーを外した際にオーディオやパワーウィンドウなどの設定がリセットされますので事前に復元方法をお調べください。
- ・スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から絶対に回転させないでください。センター位置をずらしてボスを装着するとスパイラルケーブルを破損する事があります。
- ・本取説により正確に配線を行っても、車両個体差や取り付け状態等により警告灯が消灯しない場合があります。又、警告灯が消灯した場合でもステアリングエアバッグ以外のエアバッグ作動は保証できません。純正のエアバッグモジュールに戻しても警告灯が消灯しない場合はディーラーの診断機をかけないと消灯出来ない場合があります。
- ・純正ステアリング上にあるホーン以外の各種スイッチは使用できなくなります。
- ・取り外したステアリングとエアバッグは大切に保管して下さい。何らかの理由で純正ステアリングに戻す際に必要になります。紛失した場合の部品代や工賃の保証は一切できません。
- ・運転席エアバッグを取り外すことにより、任意保険の契約内容に変更が必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。

装着手順

1、作業開始準備

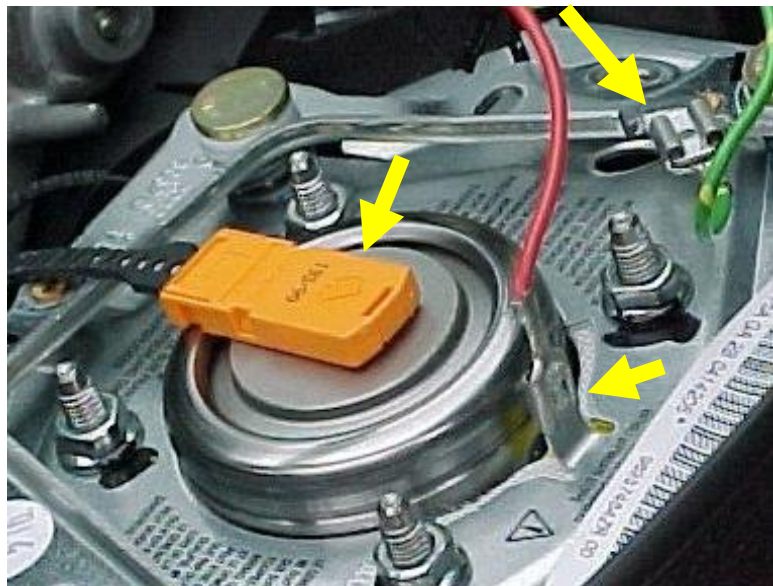
作業前に**タイヤとステアリングホイール**を直進状態にしてください。

2、バッテリー端子の取り外し

バッテリーのマイナス端子を外して下さい。

作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。

3、SRS の取り外し



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴から、トルクスレンチ（T30）を使用してボルトを緩めて下さい。

SRS本体を外し、裏側のSRSコネクタとホーン用配線2ヶ所を外して下さい。

⚠ 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないでください。(テスター等も含む)

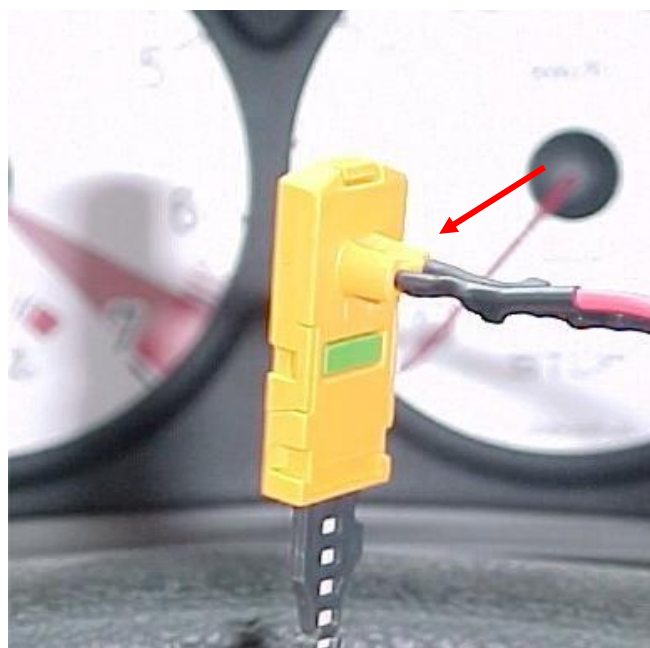
5、ステアリングの取り外し

車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。

ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端などにトップの目印をつけておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。

※この時車両側のスパイラルケーブルは絶対に回さないでください。

6、SRS 配線の処理



付属のエアバッグキャンセラーをSRSコネクタの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。キャンセラーには極性はありません。

7、ホーンコネクターの取り付け

純正のホーンコネクターを取り外し、付属のホーンコネクターに交換してください。

8、ボス本体の取り付け

ボスカバーを外します。

ボスの装着前に車体側ステアリングシャフトのテーパ部分をパーツクリーナー等で脱脂、清掃をします。

脱脂を行わずにボスを締め付けると、規定トルクで締めたとしてもボスが割れてしまう場合があります。

ボス表面のトップマーク(△)を12時方向にし 5 で付けた印に合わせ、SRS配線はホーン配線と同時にボスの中に引き込むかボスとカバーの間に収納しつつ、ホーン配線をボスの穴から通しながらボスをシャフトに挿し込みます。

取り付けする社外ステアリングをボスに仮止めし、タイヤとステアリングのセンターが合っているか確認してください。

取り付け角度に問題が無ければステアリングを一旦外し、純正センターボルトを**仮止め**します。

ボスカバーを装着します。ボスカバーがコラムカバーに接触して奥まで入らない場合はカバーをカッターなどで切って調整してください。この時怪我には十分注意してください。

※シャフトの1山以下の調整はできません。ステアリングセンターが出ない場合はタイロッドの調整でセンターを出してください。

9、ホーン配線の接続

・取り付けるホーンボタン裏の端子が1極の場合は車両側から出ているアース線に付属の変換配線を使用してアースリングに接続します。

・ホーンボタン裏の端子が2極の場合は車両側から出ている2本の配線をそのままホーンボタンに接続しますのでアースリングは使用しません。

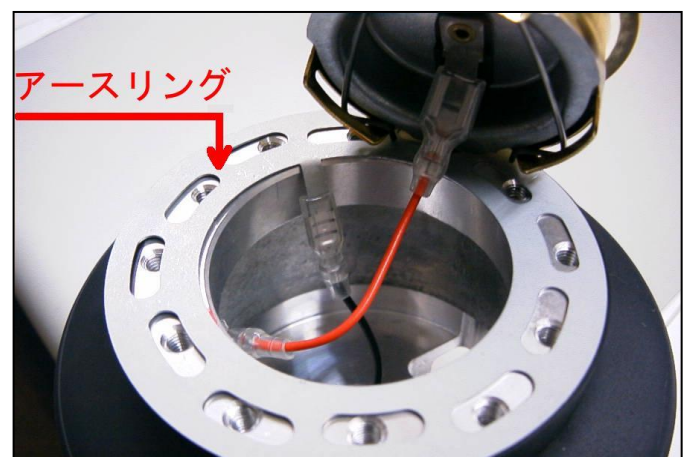
※センターボルトの本締め付けが終わっていないのでホーンボタンは装着しないでください。

10、ステアリングの取り付け

ステアリングの種類によりステアリングホイールを**カットリング(ホーンリング)**及び**アースリング**を挟んでボスに取付けます。

モモサイズのホーンボタンはカットリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタンはカットリングを使用しません。

取り付けする社外ステアリングホイールをボス付属のネジで取り付けします。ステアリングの種類により使い分けてください。ネジの締め付けトルクは **676N・cm**です。



11、ボスの本締め付け

純正センターボルトを規定トルクで締め付けて下さい。

締め付けトルクは 30N・mです。

12、ホーンボタンの取付け

ホーン用配線(赤)をホーンボタン裏の端子に接続し、ボスに取り付けて下さい。

2極タイプのホーンボタンの場合はどちらがプラス端子かマイナス端子か確認して接続してください。

13、作業終了

バッテリーのマイナス端子を元に戻し、エンジンをかけて SRS 警告灯が消灯することを確認し、ホーンが鳴ることが確認できれば終了です。

作業終了後、パワーウィンドウとオーディオの復元をしてください。

注:取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email: support@worksbell.co.jp

URL: <http://www.worksbell.co.jp>